

BUSINESS REVIEW

2012

ビジネスレビュー 2012
2011年9月1日～2012年8月31日

株式会社 ファーストリテイリング



GROUP HIGHLIGHTS 2012

2012年8月期 通期連結業績 売上高9,286億円
(前期比13.2%増)、営業利益1,264億円
(前期比8.7%増)の増収増益を達成

期末配当金 1株につき130円を実施、
年間では1株当たり260円

国内ユニクロ 既存店売上高は0.5%減。
通期では増収、営業利益は微減

株式会社ビックカメラとの協業から誕生した
グローバル繁盛店「ビックロ ユニクロ新宿東口店」を
9月にオープンし、話題を集める

海外ユニクロ 店舗数は292店舗(8月末)まで拡大、
大幅な増収増益を達成

フィリピンに進出を果たし、大盛況で迎えられる

ジーユー 中期目標の年商500億円突破を
1年前倒しで達成。2012年8月期の売上高は
約580億円、営業利益は約50億円

セオリー 過去最高益を更新。日本セオリーの増収と、
PLST(プラステ)事業が軌道にのる

CSR活動 全商品リサイクル活動において、
6月から開始した「300万着足りません」キャンペーンは
10月に回収目標数値を達成

ユニ
QLO



お客様の拍手と歓声につつまれたテープカットでした

フィリピンに 初のユニクロ誕生

2012年6月、フィリピンに初のユニクロがオープンしました。観光スポットとして人気の高いマニラ湾に隣接する、マニラ最大級のショッピングモール「モール オブ アジア」内に施設内最大の470坪の売場面積を確保。オープン3日間の売上高が、ユニクロ史上トップレベルの水準と、大盛況でした。シンガポール、マレーシア、タイに続くフィリピン出店で、今後進出を計画しているオーストラリア、インドネシア、インドといった新規国出店に拍車がかかります。



オープン初日から、800名のお客様の行列ができる盛況ぶりでした

ユニクロを、真のグローバルブランドにする

2012年度の連結業績は、増収増益を達成することができました。国内ユニクロ事業は若干の減益でしたが、海外ユニクロ事業の躍進、ジーユー事業の利益貢献が飛躍的に高まったことで増益となりました。我々がめざしてきた「グローバル化、グループ化、再ベンチャー化」の精神が、好業績につながったのだと思います。

我々は、「ユニクロを、真のグローバルブランドにする」ことをめざしています。そのために、4つの戦略を立てています。

1つ目は、ユニクロをアジアで圧倒的なナンバーワンにすることです。グレートチャイナ（中国・香港・台湾）、アセアン諸国、インドといった市場では、今後10年間で中産階級の人口が爆発的に増えると予想されています。これらの地区に大量出店を継続することで、圧倒的なナンバーワンへの道筋をつけます。2013年度末には、アジア地区の店舗数は400店舗を超える見込みです。

2つ目は、世界中に大型店を中心に年間200～300店舗を出店することです。アジア地区はもちろんのことですが、米国では2012年9月にニュージャージー州のショッピングモールに大型店を出店し、10月には米国西海岸初の店舗をサンフランシスコに出店し、どちらも大盛況でした。今後はできるだけ早く、ニューヨーク、サンフランシスコ、それぞれのエリアに20～30店舗のチェーンをつくりたいと思っています。

3つ目は、世界の主要大都市にグローバル旗艦店、グローバル繁盛店を出店することです。世界中に年間200～300店舗を出店していくなかで、鍵となるのがグローバル旗艦店と

グローバル繁盛店です。2012年9月に新宿にオープンした初のグローバル繁盛店『ビックロ新宿東口店』は、ビックカメラ様と協同で出店しました。この新店舗は、電化製品と服の店が単純に一緒になったのではなく、今までにない新しいサービスとエンターテインメントをお客様に提供するための小売業態をつくり上げたいと思い、開発したものです。

4つ目は、ファッションリーダーシップ、プライスリーダーシップを、グローバルで獲得することです。ユニクロはSPA（アパレル製造小売業）のビジネスを始めてから、低価格でお客様を驚かせ、高品質でお客様の期待に応えてきました。次にめざすのは、グローバルでのファッションリーダーシップとプライスリーダーシップを実現することです。そのために、商品開発、素材調達、生産体制に、さらに研ぎをかけていきます。

グループ事業のなかでは、特にジーユーが躍進中です。銀座旗艦店のオープン、人気タレントを起用したテレビコマercialによって、ジーユーのファッション性と超低価格が広く市場に浸透しました。ジーユーは、ユニクロ事業に次ぐグループの柱に育つことが期待されています。

これからも「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」という志を掲げ、全社一丸となって歩んでいきます。世界中のあらゆる人に良いカジュアルを提供する、日本発の新しいグローバル企業になるために、我々は挑戦し続けます。

UNIQLO GINZA



銀座で魅せる。 世界最大のユニクロ

ユニクロ最大の1,500坪の売場面積を誇るグローバル旗艦店が、銀座に誕生しました。2012年3月のオープン以来、世界中のお客様が足を運んでくださっています。世界の人気ファッションブランドが集う銀座は、常に流行の中心地です。ユニクロのグローバル旗艦店は、全世界に向けたショーケース。これからも最新情報を発信していきます。



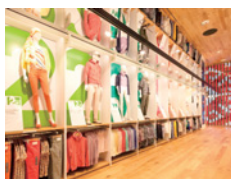
2F シーズンセクション

1~2Fの中央の吹き抜けが斬新。多彩な季節のイチオシアイテムは、見逃せません。



1F コンシェルジュ(総合案内係)デスク

英・仏・中・韓・スペイン語を話せるスタッフが、外国からのお客様のサポートをします。



1F ウエルカムゲート

各階にどんな商品があるかが一目でわかるプレゼンテーションスペースで、お出迎えます。



12F

ユニクロ ギンザ スペシャル

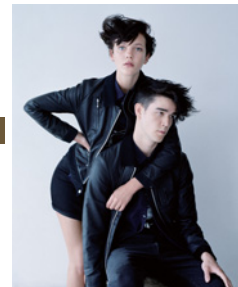
眺めの良い最上階には、旬の情報がいっぱい。イベントの開催や最旬のユニクロ商品をご紹介します。



11F

UTストア

ユニクロのプリントTシャツ「UT」の専用フロア。人気キャラクターとのコラボレーションなど、いつでも話題満載です。



10F

ユニクロ×アンダーカバー UU

ユニクロとストリート発の人気ファッションブランド「UNDERCOVER」とのコラボレーション。今後も世界の新锐デザイナーとのコラボ商品を発信していきます。

8・9F

メンズ/メンズインナー

幅広い世代の支持を集めるメンズアイテムが揃っています。ビジネスもカジュアルもお任せ。



7F

キッズ&ベビー

小さなお子様連れにも安心な工夫がいっぱい。かわいいファッションが揃っています。



6F

ウィメンズインナー

ブラトップやサラファインをはじめとする、インナー&ルームウェアが揃っています。豊富なバリエーションの中から、くつろぎの一着を選べます。

3・4・5F

ウィメンズ

通勤にも休日にも強い味方になってくれるアイテムが揃っています。銀座店限定の商品もあるので、要チェックです。



新イメージキャラクターに注目。 大人テイストで顧客層を拡大へ

g.u.

~~きゃりーぱみゅぱみゅ~~
ジーユー

「ファッションを、もっと自由に。」のコンセプトどおり、流行を取り入れたアイテムを驚きの低価格でお客様に提供しているジーユーは、2012年度に当初目標よりも1年早く、売上高500億円を突破しました。

2012年秋からの新キャンペーンには、個性的な存在感で若者に大きな影響力をもつモデル&歌手のきゃりーぱみゅぱみゅさんを起用。彼女が歌うジーユーのオリジナルCMソング『ファッションモンスター』も、注目の的です。トレンドの「大人テイストなクール&モード」を加味したウィメンズ商品と、メンズ&キッズ商品の強化で、さらなるブランド認知度のアップと顧客層の拡大をめざします。海外進出も視野に入れたジーユーの快進撃が続きます。



ラムウールセーター
¥1,990



ツイードケープ
¥3,990



レザータッチフレアスカート
¥1,490



ユニクロと人気ブランドの初コラボレーション。 2012年秋冬をおしゃれに彩るダウンジャケット登場

ファーストリテイリング グループブランドのセオリーとコントワー・デ・コトニエが、初めてコラボレーションしました。
驚きの軽さと暖かさでダウンの常識を変えたユニクロのヒット商品ウルトラライトダウンジャケットが、新しい魅力をまっとお目見えです。



Mademoiselle
Plume



COMPTOIR DES
COTONNIERS

フランス発のコントワー・デ・コトニエからは、モードな要素たっぷりの「Mademoiselle Plume (マドモアゼル プリュム)」がウィメンズ向けに登場。パリジェンヌが大好きなボックスシェイプにヒントを得たデザインが魅力です。

t h e o r y ×



ニューヨーク発のセオリーの洗練されたセンスがつくりだす「t-down」は、ボディラインに心地よくフィットするナチュラルストレッチの極軽ダウンジャケットです。

t · d o w n
b y
t h e o r y



ユニクロがサポートする世界のトップ プロテニスプレイヤーの活躍が続いています



「今年最高の
パフォーマンスだった。
支えてくれた皆さんに
感謝します」

ノバク・ジョコビッチ 選手

ユニクロがサポートするプロテニスプレイヤーのノバク・ジョコビッチ選手と錦織圭選手が、2012年10月7日のトーナメントで同日優勝を果たしました。ジョコビッチ選手は北京で行われた中国オープン男子シングルスで、錦織選手は東京で行われた楽天ジャパンオープン男子シングルスで、それぞれ会心の勝利をものにしました。

また、2012年ロンドンパラリンピックの車いすテニス男子シングルスでは、ユニクロ所属の国枝慎吾選手が北京パラリンピックに続き金メダルを獲得。男子シングルス史上初となる2連覇の偉業を達成しました。



「歴史あるトーナメントの
日本人初の優勝者に
なれたことに満足しています」

錦織 圭 選手

子どもたちの未来を拓く10億円ファンド

■■ Clothes for Smiles スタート

ユニクロとノバク・ジョコビッチ選手は、より良い社会づくりに尽力したいという共通の価値観に基づくグローバルブランドアンバサダー契約を2012年5月に締結しました。それ以来、両者の想いの実現に向けて協議を重ねてきた結果、世界中の子どもたちに夢と希望を届けるプロジェクトを立ち上げることになりました。ファンドの原資となる10億円は、2012年秋冬のヒートテックとウルトラライトダウンの売上から生まれます。これらの商品をお買い求めいただくことで、このプロジェクトをサポートしていただくことができます。

<http://www.uniqlo.com/smiles/>



「日本代表として、
ユニクロ代表として、
金メダルを獲得できて
うれしいです」

国枝 慎吾 選手

当期の連結業績は、売上高9,286億円(前期比13.2%増)、営業利益は1,264億円(同8.7%増)、経常利益は1,252億円(同16.9%増)、当期純利益は716億円(同31.8%増)と増収増益を達成いたしました。

連結売上高の67%を占める国内ユニクロ事業は、既存店ベースの売上高が前期より0.5%減収となりましたが、スクラップ・アンド・ビルドによる店舗の大型化が進んだことによって増収となりました。直営店は2店舗増加し、2012年8月末の直営店舗数は824店舗、フランチャイズ店を含めると845店舗となりました。収益面としては、上期は原材料の高騰により、下期は夏物処分値引きの拡大により、通期の売上高総利益率は前期比で低下しております。また経費比率は前期比0.4ポイント上昇したことにより、営業利益は減益の結果となりました。

海外ユニクロ事業は、中国・香港および韓国を中心としたアジア地区で店舗数が大幅に増えたこと、既存店売上高の増収が続いたことから、売上高は1,531億円(前期比63.4%増)、営業利益は109億円(同22.9%増)と、大幅な増収増益となりました。

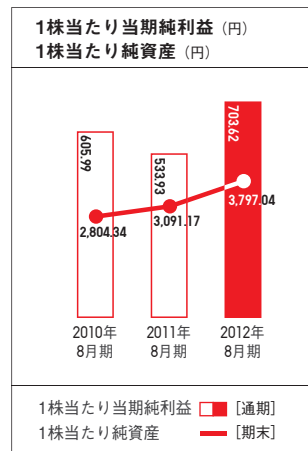
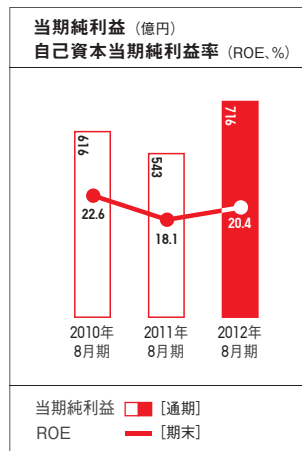
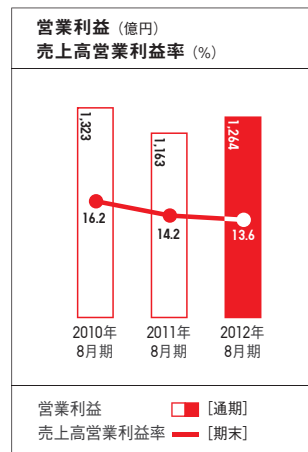
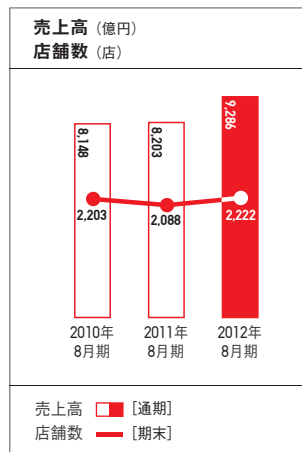
グローバルブランド事業では、ジーユー事業の業績が拡大いたしました。銀座旗艦店の出店、テレビCMの効果により、ジーユーの知名度が飛躍的に高まったことによります。また、セオリー事業の業績は過去最高益を更新いたしました。グローバルブランド事業の売上高は1,530億円(前期比23.3%増)、営業利益145億円(同65.4%増)と大幅な増収増益となりました。

当期の1株当たり配当金は、中間配当金130円、期末配当金130円をあわせて260円にさせていただきます。

3年間の連結業績推移

	2010年 8月期	2011年 8月期	2012年 8月期
売上高(百万円)	814,811	820,349	928,669
営業利益(百万円)	132,378	116,365	126,450
売上高営業利益率(%)	16.2	14.2	13.6
当期純利益(百万円)	61,681	54,354	71,654
総資産(百万円)	507,287	533,777	595,102
純資産(百万円)	287,987	319,911	394,892
自己資本比率(%)	56.3	59.0	65.0
自己資本当期純利益率(ROE、%)	22.6	18.1	20.4
フリーキャッシュ・フロー(百万円) ^{※1}	65,234	30,515	92,330
現金及び現金同等物期末残高(百万円)	200,462	202,104	266,020
1株当たり当期純利益(円)	605.99	533.93	703.62
1株当たり期末純資産(円)	2,804.34	3,091.17	3,797.04
1株当たり年間配当金(円)	230.00	180.00	260.00
(1株当たり中間配当金)	(115.00)	(95.00)	(130.00)
連結配当性向(%)	38.0	33.7	37.0
発行済株式数(株) ^{※2}	101,784,898	101,816,013	101,854,222
時価総額(億円、8月末日終値ベース)	11,786	14,742	18,608
期末総店舗数(店)	2,203	2,088	2,222

※1 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー
 ※2 期末発行済株式数は期末自己株式数を控除しております。



連結財務諸表

連結貸借対照表		単位：百万円	
	前期末 2011年8月31日現在	当期末 2012年8月31日現在	増減金額
資産の部			
流動資産：			
現金及び預金	64,386	132,238	67,852
受取手形及び売掛金	17,796	19,920	2,124
有価証券	137,728	133,788	△ 3,940
たな卸資産	92,750	98,963	6,213
その他	57,309	39,603	△ 17,706
流動資産合計	369,971	424,516	54,545
固定資産：			
有形固定資産	58,016	69,222	11,206
無形固定資産	40,751	38,216	△ 2,535
投資その他の資産	65,038	63,146	△ 1,892
固定資産合計	163,806	170,586	6,780
資産合計	533,777	595,102	61,325
負債の部			
流動負債：			
支払手形及び買掛金	59,395	71,142	11,747
未払法人税等	14,721	27,738	13,017
その他	108,726	74,495	△ 34,231
流動負債合計	182,846	173,378	△ 9,468
固定負債：			
長期借入金	13,688	9,129	△ 4,559
その他	17,331	17,702	371
固定負債合計	31,020	26,831	△ 4,189
負債合計	213,866	200,210	△ 13,656
純資産の部			
資本金	10,273	10,273	—
資本剰余金	5,223	5,541	318
利益剰余金	369,717	419,093	49,376
自己株式	△ 16,144	△ 16,003	141
その他の包括利益累計額	△ 54,339	△ 32,160	22,179
新株予約権	510	755	245
少数株主持分	4,670	7,392	2,722
純資産合計	319,911	394,892	74,981
負債純資産合計	533,777	595,102	61,325

【連結財務諸表のポイント】

- 現金及び預金、有価証券の合計額は前期末比で639億円増加
各事業の営業キャッシュ・フローが増加したことによりです。
- たな卸資産は前期末比で62億円増加
国内ユニクロ事業では46億円減少。春秋物在庫が52億円減少、夏物在庫が6億円減少、一方で店舗の大型化、新店増により10億円増加したことによりです。
海外ユニクロ事業では78億円増加。グローバル旗艦店3店舗を含め、前期末比で111店舗増加したことが主な要因です。
グローバルブランド事業では35億円増加。ジーユー事業、セオリー事業の事業拡大に伴う増加が主な要因です。
- 有形固定資産は前期末比で112億円増加
主に海外ユニクロ事業での出店拡大やグローバル旗艦店の出店によるものです。
- 為替予約約定(流動負債「その他」)が370億円減少
国内ユニクロ事業が保有する為替予約の平均レートと期末のスポットレートの乖離幅が改善したことから、含み損が減少したことによるものです。ヘッジ会計を適用していることから、損益への直接的な影響はありません。

連結損益計算書		単位：百万円	
	前期 自2010年9月 1日 至2011年8月31日	当期 自2011年9月 1日 至2012年8月31日	増減金額
売上高	820,349	928,669	108,320
売上原価	394,581	453,202	58,621
売上総利益	425,767	475,466	49,699
販売費及び一般管理費	309,401	349,016	39,615
営業利益	116,365	126,450	10,085
営業外収益	1,897	2,121	224
営業外費用	11,173	3,359	△ 7,814
経常利益	107,090	125,212	18,122
特別利益	228	327	99
特別損失	13,437	2,149	△ 11,288
税金等調整前当期純利益	93,881	123,390	29,509
法人税、住民税及び事業税	41,906	45,879	3,973
法人税等調整額	△ 4,336	3,084	7,420
少数株主損益調整前当期純利益	56,311	74,426	18,115
少数株主利益	1,956	2,771	815
当期純利益	54,354	71,654	17,300
5 売上高は9,286億円、前期比13.2%の増収 増収の内訳は、国内ユニクロ事業が199億円の増収、海外ユニクロ事業が594億円の増収、グローバルブランド事業が289億円増収となっております。			
6 売上高総利益率は51.2%、前期比0.7ポイント減少 国内ユニクロ事業において、原材料や加工賃の上昇、および夏物処分の拡大により、粗利率率が0.8ポイント下がったことによりです。			
7 売上高販管費比率は37.6%、前期比0.1ポイント減少 各グループ会社での経費削減により、比率は改善しました。			
8 営業外収支は前期比80億円の改善 前期は、海外子会社向けの立替金や、グループ間の貸付金にかかわる為替差損83億円が発生いたしました。当期は為替差損が11億円と大きく減少したことによりです。			

連結キャッシュ・フロー計算書		単位：百万円	
	前期 自2010年9月 1日 至2011年8月31日	当期 自2011年9月 1日 至2012年8月31日	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,158	127,643	70,485
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 26,643	△ 35,313	△ 8,670
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 26,156	△ 29,056	△ 2,900
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 3,142	68	3,210
現金及び現金同等物の増減額	1,215	63,341	62,126
現金及び現金同等物の期首残高	200,462	202,104	1,642
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	427	574	147
現金及び現金同等物の期末残高	202,104	266,020	63,916

- 当期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末比で639億円増加し、2,660億円となりました。国内ユニクロをはじめとする各事業の利益貢献1,233億円などにより、営業活動による収入は1,276億円となりました。投資活動による支出は353億円、配当金の支払などの財務活動による支出は290億円となっております。

■ 会社概要

商号	株式会社ファーストリテイリング FAST RETAILING CO., LTD.		
本社事務所	山口県山口市佐山717番地1		
東京本部	東京都港区赤坂9丁目7番1号 ミッドタウン・タワー		
設立	1963年5月1日		
資本金	102億7,395万円		
事業の内容	株式又は持分の所有によるグループ全体の事業活動の支配・管理等		
連結従業員数	18,854名		

■ 取締役・監査役 (2012年11月22日現在)

代表取締役会長兼社長	柳井 正	常勤監査役	田中 明
取締役(社外)	半林 亨		新庄 正明
	服部 暢達	監査役(社外)	安本 隆晴
	村山 徹		渡邊 顯
	新宅 正明		金子 圭子
	名和 高司		

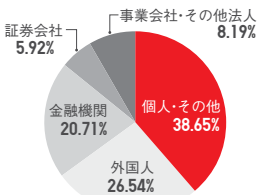
■ 株式の状況

会社が発行する株式の総数	300,000,000株
発行済株式の総数(自己名義株式を含む)	106,073,656株
株主数(自己名義株式を含む)	8,146名

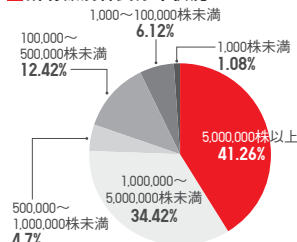
■ 大株主

	持株数(株)	持株比率(%)
柳井 正	22,987,284	21.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,088,900	8.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,383,100	6.02
ティティワイマネージメントビーヴイ	5,310,000	5.01
柳井 一海	4,781,808	4.51
柳井 康治	4,780,600	4.51
有限会社Fight&Step	4,750,000	4.48
株式会社ファーストリテイリング(自己株式)	4,219,434	3.98
有限会社MASTERMIND	3,610,000	3.40
柳井 照代	2,327,848	2.19

■ 所有者別株式分布状況



■ 所有数別株式分布状況



■ 株主メモ

事業年度	9月1日～翌年8月31日
定時株主総会	毎年11月下旬
同総会議決権行使株主確定日	毎年8月末日
期末配当金受領株主確定日	毎年8月末日
中間配当金受領株主確定日	毎年2月末日
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部(証券コード 9983)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

電話お問い合わせ
郵便物送付先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL: 0120-232-711(通話料無料)

公告方法
電子公告により、当社ホームページ (<http://www.fastretailing.com/jp/ir/>) に掲載いたします。なお、事故その他のやむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

また、当社の貸借対照表及び損益計算書は当社ホームページの上記アドレスに掲載しております。

単元株式数 100株

- ご注意
- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店にお問い合わせください。

ユニコ お客様窓口 0120-090-296 9:00~17:00(年中無休)

IRホームページ紹介

<http://www.fastretailing.com/jp/ir/>

♪ トーキョー シンジユク 新名所 ♪
とんでもない店 できちゃった
ビックカメラと ユニクロで
ビック ビックビック ビック〇〇〇 ♪

♪ 不思議な 不思議な 新名所
家電もあれば 服もある ♪
ビックカメラと ユニクロで
ビック ビックビック ビック〇〇〇 ♪